

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 一般国道17号 <small>しぶがわにし</small> 渋川西バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 関東地方整備局
起終点 自： <small>くまげんしぶがわしなかむら</small> 群馬県渋川市中村 至： <small>くまげんしぶがわしかない</small> 群馬県渋川市金井	延長 5.0 km	
事業概要 上信自動車道は、関越自動車道・渋川伊香保ICと上信越自動車道・東部湯の丸ICを結び、吾妻地域を含む群馬県の沼田・渋川地域集積圏と長野県の上田地域集積圏との地域連携を強化するとともに、広域交流を促進する延長約80kmの地域高規格道路である。渋川西バイパスは、上信自動車道の一部を構成し、渋川市内の慢性的な交通混雑の解消を図る延長約5kmの道路である。		
H16年度着工準備	H 年度都市計画決定	H 年度用地着手
H 年度工事着手		
全体事業費 約91億円	事業進捗率 0%	供用済延長 0.0km
計画交通量 23,500～31,800台/日		
費用対効果分析結果 ⁽¹⁾	B/C (事業全体) 2.6 (残事業) 2.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 73/76億円 (事業費:61/64億円 維持管理費:12/12億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 196/196億円 (走行時間短縮便益:172/172億円 走行費用減少便益:9.0/9.0億円 交通事故減少便益:16/16億円)
基準年 平成20年度		
感度分析の結果 事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】 交通量：B/C=2.4～3.0（交通量±10%） 事業費：B/C=2.5～2.9（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.2～3.3（事業期間±20%） 【残事業】 交通量：B/C=2.4～3.0（交通量±10%） 事業費：B/C=2.5～2.9（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.2～3.3（事業期間±20%）		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等の渋滞損失時間の削減が期待される） ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路「上信自動車道」の位置づけあり）（他6項目に該当）		
関係する地方公共団体等の意見 渋川市等、通過予定沿線の2市7町6村で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、1～2回/年、早期整備要望あり。 群馬県が推進する「ぐんまがはばたく7つの交通軸プラン」の1つに位置付けられている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 幹線道路ネットワークを形成する上で重要性が高く、吾妻地域の観光客誘致、高次医療サービスの向上、防災機能向上など地域の活性化支援に寄与する為にも必要な道路である。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 新設区間は、現在、都市計画決定手続き中であり、関係機関と調整を進めている。 現道活用区間のうち、暫定供用区間は用地が確保されており、事業着手後速やかに工事着手することができる。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 都市計画決定手続きを早急に進め早期事業着工を目指す。		
施設の構造や工法の変更等		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。